

黒部市立たかせ小学校 学校だより

〈育てたい子供像〉  
きれいな心の子  
大きな夢もつ子  
笑顔いっぱいの子

# たかせの子



平成28年度 平成29年3月24日（第15号）

平成28年度修了式を行いました

## 一年間、ありがとうございました

学校長 宮崎新悟

窓越しに差し込む暖かい光に、春の訪れを感じます。校庭の桜のつぼみもふくらみ始めました。

さて、本日、平成28年度修了式を行いました。6年生が卒業し、いつもとは違う雰囲気寂しさも漂いましたが、体育館に整列した子供たちの顔つきはしっかりとっていて、1年間の成長の跡が見られました。

修了式では、各学年の代表者に修了証書を手渡しました。5年生が手本を見せてくれたおかげで、修了式は厳粛で引き締められました。

その後、1年間を通して、心身ともに健康で、学校を一日も休まずに登校した子供たちに“皆勤賞”を渡しました。皆勤賞は今年度より与えることにした賞です。皆勤賞をもらった子供は、卒業生を含め107名。素晴らしいことだと思います。また、欠席者ゼロの日は年間を通して11日間でした。昨年度は20日間でしたので、減ってしまったことは少し残念なことでした。来年度は、今年以上に元気に登校し、皆勤賞をもらえる子が増えたり、欠席者ゼロの日が増えたりすることを願っています。

さて、修了式の式辞では、「世界一楽しい学校をつくろう」という目標に向けて、今年一年間大切にしてきた、「考えることを大切にする」「友達や先生と仲良くする」ということについて振り返りました。加えて、来年度の始業式に向けて、春休みの間に「勉強の準備」、「体の準備」、「心の準備」をしっかりとしよう話しました。

教室に戻った子供たちは、担任の先生から修了証書（通知表）をもらい、1年間を振り返るとともに、春休みの過ごし方について確認していました。4月には、すべての学級が新しく編成されてスタートすることから、本日がそれぞれの学級での最後の日となりました。友達や先生との別れを惜しむ様子も見られ、印象的でした。

明日から4月5日（水）まで12日間の春休みです。新年度に、子供たちが新たな気持ちでよいスタートが切れるよう、ご家庭で生活リズムや学習環境を整えていただきますようお願いいたします。また、暖かくなって外出する機会も多くなる一方で、インフルエンザ等の影響で体調が万全でない子供も見受けられます。健康管理にご配慮ください。重ねて、交通事故や水の事故等に遭わないよう、安全についての配慮もお願いします。

保護者の皆様をはじめ各地区の皆様方には、今年度一年間、本校の教育活動充実に向けて多大なるご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。学年末休業日は短い期間ではありますが、教職員一同、今年度の成果と課題を踏まえ、次年度に向けてしっかりと準備をしたいと考えております。来年度もどうぞ、よろしく願いいたします。



卒業式（3月17日）



## 学校評価の結果をホームページに公開しました

今年度の学校アクションプランの結果につきましては、学校だより13号（3月7日発行）にてお知らせしましたが、その内容も含めて、今年度学校評価の結果をホームページに掲載しました。お時間があるときにご覧いただければと思います。以下、今年度の成果と来年度に向けた課題について、学校評価報告書より抜粋してお知らせします。

### 〔今年度の成果と来年度に向けた課題〕

○成果 △課題

#### ◆学校経営について

---

##### ①教職員の協働体制づくり（内に開かれた学校づくり）

- 日頃から様々な取組の成果を認め合ったり、課題を共有して共に取り組んだりするなど、校務の充実を通して協働関係を強めた。
- 校務や研修のスリム化を図り、会議・行事なども見直し、学校パワーアップを推進した。
- △学校が組織として動くために、さらに確実な「報告・連絡・相談・確認」を大事にしていく必要がある。また、教職員の学校経営への参画意識をさらに高めることで、活力ある学校づくりにつながると考える。
- △教育活動の重点化をさらに図り、年間を通したP D C Aの評価活動を工夫する。

##### ②家庭・地域との信頼関係づくり（外に開かれた学校づくり）

- 学校経営方針をはじめ、アクションプラン、年間行事予定、家庭学習についての留意事項等を記載した「たかせ小ガイド2016」を新しく作成し、保護者に配布して家庭との連携に努めた。
- 各種たよりによる積極的な情報発信並びにホームページの充実は、学校の教育活動に対する理解につながり、家庭との連携の大きな柱の一つとなっている。
- 学校だよりを通して「学校経営に関するアンケート結果」を家庭に公表し、学校経営についての共通理解を図ることができた。
- △今後も、家庭との「ちょっとした連絡・相談」を大事にして信頼関係づくりを進めたい。

##### ③教師の資質向上（人づくり）

- 教師の仕事や授業づくり、子供や保護者との対応などについて、日頃の会話や雑談を大事にして、互いに学び合う職員室となっている。
- 中央教育審議会芸術ワーキング委員として取り組んできた学習指導要領の改訂に向けた新しい情報を出来るだけタイムリーに伝え、教職員の意識改革に努めた。

##### ④特別支援に関する校内支援体制の整備

- 正副特支コーディネーターを軸に、支援を要する児童へのサポート体制を強化した。
- △来年度は、特別な支援を必要とする児童が増えることが見込まれることから、正副特支コーディネーターを軸に、学級担任、通級担当者、スタディ・メイトとの連携を十分に図るようにする。

#### ◆学習指導について

---

##### ①わかる・できる授業の取り組み

- 研修では授業の導入・展開・終末での視点を基に、before/afterの発想を大切に、学団での互見授業や事前・事後研を通して指導の工夫に努めた。
- 現職研修の充実を目指してコーチングに関する研修を行ったり、若手教員の資質向上を目指して若手教員研修会を行ったりし、教職員の意識改革に努めた。

##### ②学ぶ意欲の向上と授業規律の確立

- 「学習習慣チェックカード」から、各学級で重点項目を決めて取り組んで成果があった。
- 「聞き合う力を育てる」ための3つの約束事や「話す・聞く・作業する」の区別等、全校で共通した学習規律の確立に努めることができた。
- △授業での生徒指導の機能（自己肯定感を高める～「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」など）を生かす研修を、さらに進める必要がある。

##### ③家庭学習の習慣化（アクションプラン2）

- 各学級で家庭学習の方法を具体的に指導し、自主学習ノートの活用をよさを掲示したり、家庭学習番付

表を作成したりして意識を高めたことで、家庭学習のめやす時間（10分間×学年+10分）を達成した子供が増えた。

△今後、家庭学習を充実させていくには、授業の学習内容と家庭学習を効果的につなげたり、家庭学習の取組のよさを発信したりして望ましい学習習慣の定着を図りたい。

## ◆生徒指導について

### ①積極的な生徒指導の推進

- 子供の不安や悩みを見逃さない観察と共感的な声かけや相談活動に努めた。  
（日頃のふれあい、「ふれあい週間」、「生活アンケート」他）
- 生徒指導の力量を高める校内研修会を行い、互いの考えのよさや違いを学んだ。また、日々の出来事を事例に、ミニ研修会を行った。
- ネットに関するアンケートを実施するとともに、ネットトラブル防止教室を開催して、自分の身を守ることへの意識を高めた。
- 「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、些細な情報も共有して、問題が起きた場合は組織で対応する支援体制（生徒指導小委員会他）を今後も強化していく。
- 清掃中のBGMを見直すことでメリハリが生まれ、清掃に集中しやすい雰囲気をつくることが出来た。様々な活動場面を振り返り、子供たちのよりよい活動環境をつくるように務めたい。
- △「いじめ防止基本方針」の振り返りを基に、来年度は、いのちを大切に自分の生き方を考える機会の充実や、教師自身の人権意識のさらなる向上に努めたいと考える。

### ②児童の温かい人間関係づくり（アクションプラン2）

- 年間を通して、児童会のプロジェクト委員会を中心に進めた「あったか言葉」の広がりや、子供たちの温かい関係づくりに成果が見られた。  
（「あったか言葉」の発表・掲示、「あったかエピソード」「あったかポスト」他）
- 学級においても、「きらきらを見つけて伝えよう」「なかよしメッセージ」など、帰りの会などで互いを認め合う温かい取り組みを進めた。
- △インフルエンザの流行もあり、3学期は挨拶パワーアップ週間を設けることが出来なかったが、学期が進むにつれて挨拶のよさを感じている児童が増えている。来年度も、挨拶のよさを感じる活動を工夫していきたい。

## ◆健康安全について

### ①健康指導（アクションプラン3）

- 「早寝・清潔検査」や「とやまゲンキッズ作戦」の結果を保健だよりなどを通して知らせることで、家庭と状況を共有し、連携しながら健康な生活習慣づくりを推進することができた。
- 望ましい生活習慣の育成を目指して取り組んだ「テレビ・ゲームわが家のルール」チェックの結果は80%となり、目標の85%には届かなかったが、各家庭で子供の生活リズムやゲームのルールを見直す機会となった。
- 「薬物乱用防止教室」や「いのちの授業」などに取り組み、子供たちは心とからだの健康づくりについて考えることができた。

### ②体力づくりの日常化

- 「みんなでチャレンジ3015」等を活用して、始業前の自主マラソン、週一回の全校リレー（冬期は大縄跳び）、大休憩時のマラソン（毎週水曜日）など、子供たちは目当てをもって取り組むことができた。
- △体力テストの結果を生かし、各学年や全学年共通の課題などを確認して、日頃の体育の授業等を通じた活動の工夫が必要である。

### ③安全指導

- 防犯パトロール隊や学童保育指導員（たかせキッズ）など、地域の方との連携を図り、児童の安全確保に努めた。
- △事故やケガの未然防止、発生したときの対処など、学校の危機管理体制を整備するとともに、児童及び教職員の危機管理意識を高める必要がある。

## 新学期に向け、「心の準備」、「体の準備」、「勉強の準備」を

春休みは12日間という短い休業ですが、子供たちにとっては、最も大切な休みと言えます。それは、3月31日から4月1日の日付をまたいで、子供たちが進級するからです。ですから、短い休業期間ではありますが、新年度に向けて、「心の準備」「体の準備」「勉強の準備」をしっかり整えることが大切です。「進級できると嬉しいね」というように、お子さんと一緒に進級の喜びを分かち合いながら、充実した春休みになるよう、ご配慮ください。新3年生以上の子供たちは、4月早々に、学力調査も実施されます。また、新6年生の子供たちは、全国学力学習状況調査を受けます。スタートダッシュが肝心です。よろしく願いいたします。

## グラウンドは富山県ドクターヘリと救急車とのランデブーポイント

3月22日（水）の12時30分頃、警察から電話が入りました。内容は、大けがをした方を病院へ緊急搬送したいので、グラウンドにドクターヘリを着陸させるという内容でした。昨年の3月31日に続いて2回目です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、本校のグラウンドはドクターヘリと救急車とのランデブーポイントとなっています。学校では、ちょうど給食の時間でしたので、子供たちが落ち着いた行動をとれるようドクターヘリが飛来することを伝えるとともに、昼休憩にはグラウンドを利用しないこと、ドクターヘリの役割等についても話しました。

連絡が入ってからすぐに消防車が到着し、グラウンドの砂が舞い上がらないように放水をしました。その後すぐにヘリが到着して救急車を待ちました。ヘリが着いて1・2分後に救急車が到着し、患者をヘリに移し換えてヘリが病院へ向かいました。大切な命を守るために、たくさんの方々が一生懸命働いておられることを知るとともに、大けがをされた方の回復をお祈りしました。



## \*\*4月 及び 5月の主な行事予定です\*\*\*\* ☆PTA関連行事 \*\*

- 4月6日（木） 平成29年度始業式、離任式、着任式
- 7日（金） 給食開始、入学式準備 \*鷹施中学校入学式
- 10日（月） たかせ小学校入学式 \*給食なし
- 11日（火） 小教研学力調査（国語：3～6年／理科：4～6年） 1年生給食開始
- 12日（水） 小教研学力調査（算数：3～6年／社会：4～6年） 1・2年生交通安全教室
- 14日（金） 地区児童会／集団下校
- 17日（月） 市小教研全体研修会（教員研修のため午後から授業なし）
- 18日（火） 全国・学力学習状況調査（6年／国語 算数） 防犯パトロール隊出発式（1・2年）
- 21日（金） ☆PTA総会リハーサル
- 22日（土） ☆学習参観、学校説明会、PTA総会、学年・学級懇談会、PTA歓送迎会  
※児童は弁当持参、5限までの授業後下校
- 24日（月） 振替休業日
- 26日（水） 児童集会／1年生歓迎集会
- 27日（木） バス遠足
- 29日（土） ◎昭和の日
- 5月1日（木） 学校集金口座振替
- 2日（金） ☆市P連総会
- 7日（日） 富山県「県民ふるさとの日」記念式典 教育文化会館（特別合唱団出演）
- 19日（金） 黒部市小学校連合体育大会 ※予備日は5/23(火)
- 24日（水） 家庭訪問 第1日目（東布施・山田・南田家） \*詳細は後日
- 25日（木） 家庭訪問 第2日目（南田家・神谷・田家野・鏡野）
- 26日（金） 家庭訪問 第3日目（荒町・北田家・阿古屋野）